

すもう王国あおもり



テレビの前で、おすもうさん以上に力んで郷土の力士に声援を送る青森のお父さんやお母さんたち。江戸時代、力士は大家に召し抱えられ藩の威信をかけて土俵に臨む、お国のスターだったのです。時代が移り変わった今も、郷土の誇りであることに変わりはありません。

そんな中で、相撲王国の名をほしいまにできたのが青森県です。

最古の番付が残っている宝暦7年(1757年)からこれまで、本県は「幕内」に82人の力士を送り出してきました。これら、文句なしの**全国第1位**です。また、平成22年9月場所現在、「関取」と呼ばれる「十両」以上の力士は10人。これも、**出身都道府県別で第1位**です。もっとすごいのは、明治16年5月場所に「一ノ矢」が入幕して以来**127年間、ひと場所も幕内力士が途絶えたことはありません**。なるほど、大相撲放送に釘付けになるのも、うなづけますね。

大相撲の最高位「横綱」。これまで本県出身の「横綱」は6人で、北海道の8人に次いで**第2位**です。優勝力士10人も**第2位**、成績優秀者に贈られる三賞(殊勲賞・敢闘賞・技能賞)受賞者も23人で**第2位**。三賞の中でも、技のキラリと光る力士に贈られる**技能賞は16人で、ダントツの第1位**です。

また、大相撲には、勝負を判定する「行司」や、競技の準備、進行に携わる「呼出し」、力士の鬘を結う「床山」などの職がありますが、**行司の最高位「立行司」の第33代木村庄之助を襲名したのも、呼出しの最高位「立呼出し」の初代に任命されたのも本県出身者**です。また、**床山の最高位「特等床山」も本県から誕生**しています。青森県は、行司も呼出しも床山も、**競技に必要な全ての分野で“横綱”を輩出**しているのです。

かつては神社や学校の土俵で多くの大会が開かれ、子供たちの遊びの中にあつた相撲。昭和21年から再開された「**全国高等学校相撲選手権大会**」での団体優勝**10回**は、高知県の14回に次いで**第2位**。また、本県の**田中英寿がアマチュア相撲界最多の34タイトル**を獲得するなど、郷土の相撲を愛する心と、熱心な指導者たちから受け継がれてきた技が、「相撲王国あおもり」の広い裾野を支えているのです。

資料:(財)日本相撲協会公式サイト、青森県力士人名辞典(今靖行著) 改訂青森県郷土力士物語(今靖行著)



やっぱりラーメンが好き?



21年家計調査(県庁所在市別)の結果を見ると、**青森のカップめん購入数量(1世帯あたり)は全国第1位!**調理が面倒?安くて早いから?いいえ、よく見ると、**中華めんの購入金額も全国第2位**で、常にトップ争いをしています。私たちは、ラーメンが大好きなんです。

青森のラーメンは、煮干し、焼干しダシをベースとしたしょう油系が古くからあり、加えて、様々に味の工夫が重ねられ進化してきた味噌ラーメンが定番となっていますが、地元ならではの食材や、斬新なアレンジをおりませたニューウェーブの開発にも余念がありません。「にんにくラーメン」、「しじみラーメン」、「りんごラーメン」などなど。さらには、黒石地域で愛されている焼きそばとラーメンのつゆを組み合わせた「**つゆ焼きそば**」は、B級グルメとして大ブレイクです。

最近注目は、カップ麺となって全国デビューした「**味噌カレー牛乳ラーメン**」。最初は「どうして全部混ぜちゃったの!?!」とビックリしてしまう組み合わせですが、これが意外においしく、クセになる味なのです!調べてみると、**みその購入数量は全国第8位、カレールウも第9位**。なんだか納得ですね。青森と言えば、素朴で恥ずかしがり屋、我慢強い...というイメージがありますが、**結構大胆でチャレンジ精神旺盛**だな~と思いませんか?ラーメンだけでなく、ウニとアワビのお吸い物「いちご煮」、あんこ入りだんごにしょうゆだしをかけた「けいらん」など、**県内にはユニークな郷土料理がいっぱい**。この**豊かな味覚とチャレンジ精神**が、次にどんなラーメンをうみだすのか楽しみ!



カップめん購入数量 (H21年) (県庁所在市1世帯あたり)

全国	2,998g
1 青森県	4,927g (全国の平均の1.64倍)
2 秋田県	4,180g
3 新潟県	3,791g
4 山形県	3,780g
5 富山県	3,777g

中華めん購入金額 (H21年) (県庁所在市1世帯あたり)

全国	4,643円
1 岩手県	6,829円
2 青森県	6,224円 (全国の平均の1.34倍)
3 秋田県	5,375円
3 静岡県	5,375円
5 山形県	5,311円

資料:家計調査年報(総務省)

オンリーワンで行こう！

青森県には、アイデアを原動力に、新しい技術を全国・海外へ発信し続ける元気な企業がたくさんあります。共通するのは、「創意工夫で他社との差別化を図る」、つまり、オンリーワンで行こう！ということ。

元気な企業たち



世界初！光学素子「クロビット」 株式会社テクニカル(弘前市)

0.2mmの直角三角プリズムは世界最小クラス。同社が開発した「クロビット」は、大きさ・形状・屈折率の異なる複数のプリズムを組み合わせることで、1台のカメラでコインの表裏やサイコロの6面を同時に見ることを可能にした。

プロが絶賛！音質向上「クリーン電源」 株式会社光城精工(平川市)

オーディオ機器の電力を安定化し、音質向上に重要な役割を果たす。プロミュージシャンや全国のオーディオマニア、劇場などから評価され、音質に感激したギタリストで日本音響学会会長の寺内タケシ氏から感謝状も！

世界トップレベル！電子部品検査機器で新領域 株式会社日本マイクロニクス(平川市)

パソコン、TV、携帯電話などに多く使用される半導体などを検査する装置を開発。直径10~200ミクロン(1千分の1mm)の極細の金属線を30~200ミクロン間隔で並べた検査器具や、1千兆分の1アンペアという微小電気を計測できる装置など、ハイテク産業の高度な要求に応える優れモノ。シェアは世界トップクラス。

世界唯一の電着画像技術！0.03ミリの薄いシール！ テフコ青森株式会社(弘前市)

0.03ミリ~0.15ミリの薄い特殊シールを作り出すという世界が認めるこの技術は、国際特許も取得。世界で生産される高級腕時計の文字盤をはじめ、テレビ、パソコン、自動車のブランドロゴマークなどにも使われている。

世界初！小型光センサー糖度計 東和電機工業株式会社(藤崎町)

りんごなど果実の表面に光センサーを当てるだけで測定できる小型糖度計を開発。樹に実ったままの果実も測定できる「非破壊・ハンディタイプ」の糖度計は世界初！生産高は日本一！

世界初！食品カロリー自動測定装置 株式会社ジョイ・ワールド・パシフィック(平川市)

電子レンジのような機械に食品を入れ、メニュー設定後にスタートボタンを押せば、わずか数分でカロリー数値が自動表示。光の波長「近赤外線」を応用し、生の食材からお惣菜、お弁当など調理後の食品も測定可能！肥満への関心の高いアメリカなどの世界進出を視野に入れ、各国へ特許出願で、中国では取得済み。

世界トップレベル！産業用抵抗器 ニッコーム株式会社(三沢市)

世界トップレベルの精度を誇る産業用抵抗器を開発。産業用機械の制御装置や新幹線列車制御。精密電子計測器などからハイブリッド自動車にまで使われている。取引先は国内400社、海外50社！様々な用途で世界の社会インフラを支えている。

国内トップクラス！ストッキング生産 アツギ東北株式会社 むつ事業所(むつ市)

日本市場のストッキングのバイオンニア、アツギ株式会社のストッキング国内生産の大半を担う。2007年10月合併により、アツギむつ株式会社から商号変更。工業統計調査(H16年)で青森県が「パンスト出荷金額」日本一となったひとつの大きな要因。

世界中に出荷！最先端医療機器 青森オリンパス株式会社(黒石市)

医療用内視鏡分野の中でも、特に医療用処置具の開発・生産で力を発揮。内視鏡の飛躍的な進化に伴い、胃の早期ガンや大腸の隆起性病変など、開腹せずに検査や治療が行われるようになり、医療現場の必須アイテムとして求められる最先端の医療用処置具は、およそ1,000種類以上！

資料：全国のモノ作り中小企業300社<2007年版><2006年版>(経済産業省)、東北の「光り輝く」企業たち<18年度調査>(財団法人東北産業活性化センター)、県商工政策課、県新産業創造課、東奥日報社

ピカイチデータ番外編

青森県のピカピカ人財

さまざまな分野で、夢をもって未来を拓く、個性豊かな、素晴らしい人財(人材)をたくさん輩出している青森県。いくつかの分野に焦点を当て、「数字だけでは読めない」ピカイチな人財の足あとをたどってみました。他にももっとももっとたくさんのピカピカ人財がいます。調べてみると意外な発見があったり、なかなか楽しいですよ。

技術・工学

木村 秀政
(1904~1986)
五戸町

産業発展のカギとして注目を浴びている「モノ作り」の力。青森県には、英知と技術力で日本のモノ作りを牽引した人たちがいます。
「航研機」設計に携わった後、初の国産旅客機「YS11」を開発。プロペラ機で、短い滑走路でも発着できるのが特徴。頑丈で、製造終了後30年以上たった現在も海外で活躍中の機体がある。

工藤 富治
(1889~1959)
むつ市

金属製として初めて長距離飛行の世界記録を達成したフランスの飛行機「D33型」の製作責任者。1938年には、日本の超長距離試作機「航研機」を製作し、世界記録を更新。

中村 松太郎
(1894~1987)
八戸市

県内外の重要な寺社の建立・修復に携わり、「日本の名工100人」に。自宅の失火で消失した寺院の再建を悲願に宮大工を志し、54年目にして寺の再興を果たす。

堀江 佐吉
(1845~1907)
弘前市

洋風建築の先覚者。津軽藩の城大工の家に生まれ、独学で斬新な洋風建築を数多く手がける。建築を「作品」にまで高め、文化財に指定されている建物も多い。

科学

石館 守三
(1901~1996)
青森市

未踏の領域に果敢に挑戦し、新たな「知」を生み出す科学者。青森県には、探究心と創意工夫で私たちの知識や幸福に貢献した人たちがいます。

東京大学の初代薬学部長。ハンセン病の治療薬プロミンの国産化に成功。がんの化学療法剤第1号の開発など、薬学上、数々の実績を残した。「人類愛」の理念のもと、アジア各国のハンセン病、エイズ対策などに心血を注いだ。元日本薬剤師会長。

一戸 直蔵
(1878~1920)
つがる市木造

日本天文学界の功労者。東京天文台の観測主任を務め、大型望遠鏡による宇宙観測を主張。「日本天文学会」の創設を推進したほか、科学誌「現代之科学」を創刊し科学ジャーナリストとしても活躍。大型望遠鏡は、1999年にハワイに完成した「すばる」により、没後80年を経て実現。

川口 淳一郎
(1955~)
弘前市

史上初めて、月以外の天体に着陸し、地球に帰還した小惑星探査機「はやぶさ」のプロジェクトリーダー。3億キロ離れた宇宙でのトラブルを克服し、7年もの歳月をかけて帰還を果たした科学技術と熱意に、世界中から拍手が送られた。

西山 正治
(1922~1993)
八戸市

世界初の「レントゲン車」を開発した医師。さらに、あらゆる角度からの撮影を可能とする「ジャイロスコープ」の開発が世界に認められ、国際医学放射線学会賞に輝く。

畑井 新喜司
(1876~1963)
平内町

我が国近代生物学のバイオニア。東北大学付属浅虫実験所開設に尽力。「太平洋学会会議」の席上、優れた業績を残した研究者に贈られる賞は、「畑井メダル」と呼ばれる。

ジャーナリズム

陸 羯南
(1857~1907)
弘前市

明治の言論界をリード。新聞「日本」を創刊。明治20年代、日本の近代化・国際化の過程にあつて、欧化主義に反対する立場をとり、国民の精神的共同体としての国家を説いた。

沢田 教一
(1936~1970)
青森市

報道カメラマン。ベトナム戦争の悲惨さや残酷さを4年以上も最前線で撮り続け、戦場に散った。国際的に高く評価され、受賞は多数。「安全への逃避」はピュリッツァー賞に輝く。

鳥谷部 春汀
(1865~1908)
五戸町

人物評論の第一人者。明治30年代雑誌「太陽」を主宰。周到な調査に基づく平明な文章による客観的な人物評論は「天下の絶品」と称された。

羽仁 もと子
(1873~1957)
八戸市

日本初の女性記者。「家庭之友」を創刊、後に独立し婦人之友社を設立。雑誌を通じ、女性が自分の才覚で家庭を切り盛りする知恵と勇気を与えた。子どもたちの自由な発想を助け才能を伸ばす教育のため「自由学園」を創立。

文学

石坂 洋次郎
(1900~1986)
弘前市

日本を代表する多くの文学者を世に送り出してきた青森県。文学界のビッグタイトル、芥川賞、直木賞の受賞者も輩出しています。

ユーモラス・軽快な青春小説で国民的人気を博した作家。「若い人」「青い山脈」「石中先生行状記」など次々とヒット作を発表。「陽のあたる坂道」など映画化された作品も数多い。

ピカイチデータ番外編

青森県のピカイチ人財

長部 日出雄 (1934~) 弘前市
1973年「津軽世去れ節」「津軽じよんから節」で第69回直木賞を受賞。東京での記者、映画評論家を経て17年ぶりに帰郷し、2年4ヶ月かけて津軽を歩きまわり綿密な取材を重ねて執筆した作品。

今 官一 (1909~1983) 弘前市
県人初の直木賞作家。1956年「壁の花」で第35回直木賞を受賞。1960年には同人雑誌「現代人」を創刊。1980年に帰郷し郷土の作家を育成した。

太宰 治 (1909~1948) 五所川原市金木
近代日本文学を代表する作家。波乱に満ちた生き方から暗いイメージで捉えがちだが、「人を喜ばせるのが好きな作家」太宰の作品には繊細な感情と豊かな知性、ユーモアが漂っており、今でも人気が衰えない。「走れメロス」「津軽」「斜陽」「人間失格」「お伽草子」など多くの作品が国内外で読まれている。

三浦 哲郎 (1931~2010) 八戸市
県人唯一の芥川賞作家。1961年「忍ぶ川」で第44回芥川賞。長編・短編・自伝的小説・歴史小説とたゆみなく発表し、数多くの文学賞を受賞。

映画・舞台

人間の身体をもって表現する映画や舞台の世界でも、青森県が生んだ才能は、計り知れない影響をもたらしました。

江口 乙矢 (1911~2004) 野辺地町
江口隆哉の弟。隆哉の門下生となり、作品に日本の民話などを取り入れ、現代舞踊の土台を広げ、定着させた。

江口 隆哉 (1900~1977) 野辺地町
ドイツ留学を経て、日本にモダンダンスの妙味をもたらし、現代舞踊の礎を築く。元現代舞踏協会会長。

小国 英雄 (1904~1996) 八戸市
我が国初のトーキー(音声付き)映画の脚本を書く。巨匠黒澤明のシナリオライターとして、数々の傑作に携わる。300本を超える映画シナリオを世に送り出した。

川島 雄三 (1918~1963) むつ市
日本喜劇映画の金字塔と賞される「幕末太陽傳」を監督。45年の生涯で51本の作品を作る。斬新、洗練、破天荒を極めた作品は、没後40年以上経た現在でも、多くの信奉者を惹きつけてやまない。

菊谷 栄 (1902~1937) 青森市
“日本の喜劇王エノケン”の片腕として、お笑いの世界を陰で支えた伝説的脚本家。斬新な作風で、戦死するまでのわずか6年間で100本近い作品を生み出した。

ピカイチデータ番外編

青森県のピカイチ人財

寺山 修司 (1935~1983) 弘前市
歌人・詩人・劇作家・映画監督など、驚くほど多くの分野で活躍。演劇実験室「天井桟敷」を旗揚げし、海外でも公演。前衛的な活動は、国内外で高く評価される。

松山 ケンイチ (1985~) むつ市
2001年モデルデビュー。2003年に映画デビューした後、「デスクノート」への出演で話題を呼び、「カムイ外伝」など次々と主演を果たす。役柄によって演技、外見を自在に変化させるため、「カメレオン俳優」とも評される。「ウルトラミラクルラブストーリー」では毎日映画コンクール「主演男優賞」受賞。

横浜 聡子 (1978~) 青森市
映画監督。長編第一作目「ジャーマン+雨」で2007年度日本映画監督協会新人賞を受賞。2009年には、松山ケンイチ(むつ市)を主演とするオール青森ロケ、津軽弁の「ウルトラミラクルラブストーリー」が公開、4大映画祭の一つといわれるトロント映画祭にも出品された。

美術

現在も版画制作が盛んな青森県。版画はもちろん、様々な美術で、世界に通じる個性豊かな芸術家を生み出しています。

阿部 合成 (1910~1972) 青森市浪岡
波乱に富む生涯から「修羅の画家」と呼ばれる。戦前の作品が反戦絵画と迫害され、出征しシベリア抑留など、苦難に満ちた戦争時期の後、メキシコで得た題材や技法を生かし晩年まで独特の作品を制作。

工藤 甲人 (1915~) 弘前市
戦後を代表する日本画家。西洋の幻想的美術に影響を受け、津軽の風土に根ざした独自の日本画の世界を創造。90歳を過ぎた現在も盛んな創作意欲で、毎年創画展へ出品を続けている。

今 純三 (1893~1944) 弘前市
日本近代銅版画の先駆者。県人初の文展洋画入選。東京で新進の画家として活躍していたが、関東大震災を機に青森へ戻り、銅版画や石版画の技法研究に力を注ぎ、数多くの版画を制作。

関野 準一郎 (1914~1988) 青森市
青森で今純三から銅版画を学ぶ。戦後の物不足の中、東京で銅版画の研究を主催。のちに国際的に活躍する若者たちが集まった。材料は自前調達、道具を工夫し版を作り、プレス機まで自作。リトグラフなど様々な技法に挑んだ。

鷹山 宇一 (1908~1999) 七戸町
日本の希有な幻想画家。棟方志功らの青光画社に参加し、日本美術学校在学中、二科展に初入選。二科会の重鎮としても活躍。

ピカイチデータ番外編

青森県のピカイチ人財

奈良 美智
(1959～)
弘前市

日本のアートシーンのトップランナーとして国際的にも注目を集める現代美術作家。2006年夏にオープンした県立美術館の建築と一体化した人気の「あおもり犬」は、高さ8.5mの像で、彼の最も大きな作品。

成田 亨
(1929～2002)
神戸市生まれ
青森市で育つ

彫刻家、特撮美術監督。「ウルトラマン」シリーズのヒーロー・怪獣・宇宙人・メカをデザインし、日本の戦後文化に大きな影響を与えた。彫刻家の感性・資質が反映されたデザインは、放映後40年経つ現在も輝きを放つ。

榎方 志功
(1903～1975)
青森市

「世界のムナカタ」と呼ばれる「板画家」。国際美術展で最高賞受賞。県人初の文化勲章受章者。ゴッホに憧れ、油絵から板画の道へ。板による表現であると「板画」と称した。板画のほか、倭画、油絵、書など、縦横無尽に彫刻刀や筆をふるい他に類を見ない独特の世界を創り上げた。

音楽

時代を超えて伝えられていく音楽。青森県は、そうそうたる音楽家を輩出し、そして今も送り出し続けています。

淡谷のり子
(1907～1999)
青森市

10年に1人のソプラノと絶賛され、東洋音楽学校(現東京音楽大学)を首席で卒業。様々なジャンルに取り組み、日本のシャンソン界の先駆者となる。代表曲から「ブルースの女王」と呼ばれた。

高橋 竹山
(1910～1998)
平内町

津軽三味線を芸術の域にまで高めた名人。津軽三味線独奏を初めてレコードに収録。東京で定期演奏会を行い、竹山ブームを巻き起こす。海外でも公演を行い、津軽三味線を世界に知らしめた。

原 信子
(1893～1979)
八戸市

日本オペラ黎明期のソプラノ第一人者。国内で活躍した後、アメリカ、カナダ各地を巡演し、イタリヤ・ミラノの名門スカラ座の専属歌手に。「原信子歌劇研究所」を設立し、後進を育てた。

渡辺 浦人
(1909～1994)
東京生まれ
青森市で育つ

日本を代表する交響組曲「野人」を作曲。日本音楽コンクールで主席入選。800曲の校歌、1,500曲の童謡など、2,000を超える作品を送り出した。元日本民族音楽協会会長。

ピカイチデータ番外編

青森県のピカイチ人財

スポーツ

青森県は、我が国を代表するスポーツ選手を数多く輩出しています。ここでは、オリンピックのメダリストを紹介します。

赤石 光生
(1965～)
弘前市

レスリング選手。ロサンゼルスオリンピックレスリングのフリースタイル62キロ級で銀メダル、バルセロナオリンピック68キロ級において銅メダルを獲得するなど、オリンピック3大会連続上位入賞を果たした。1992年、青森県民名誉賞を受賞した。

泉 浩
(1982～)
大間町

柔道選手。アテネオリンピックの柔道競技90キロ級において、銀メダルを獲得した。2004年、青森県民名誉賞を受賞した。

伊調 馨
(1984～)
八戸市

レスリング選手。アテネオリンピック及び北京オリンピックのレスリング競技女子63キロ級において、2大会連続で金メダルを獲得した。2004年秋、学術、芸術、スポーツ分野の功労者に授与される紫綬褒章を受章、2008年に青森県民名誉大賞を受賞した。

伊調 千春
(1981～)
八戸市

レスリング選手。アテネオリンピック及び北京オリンピックのレスリング競技女子48キロ級において、2大会連続で銀メダルを獲得した。2008年に青森県民名誉大賞を受賞した。

齋藤 春香
(1970～)
弘前市

ソフトボール選手。日本チームの中心打者として活躍し、シドニーオリンピックで銀メダル、アテネオリンピックで銅メダルを獲得。北京オリンピックでは日本代表の監督を務め、金メダルを獲得した。2000年及び2004年に、青森県民名誉賞を受賞した。

斉藤 仁
(1961～)
青森市

柔道選手。ロサンゼルスオリンピック、ソウルオリンピックの柔道競技95キロ超級において、2大会連続で金メダルを獲得した。1988年に青森県民名誉大賞を受賞した。

坂本 勉
(1962～)
南部町福地

自転車競技選手。ロサンゼルスオリンピックの自転車競技スプリントにおいて銅メダルを獲得した。1984年、青森県民名誉賞を受賞した。

資料：青森20世紀の群像(東奥日報社)、青森県近代文学館HP、県立美術館HP、県立郷土館HP、青森県HPほか

来て！ 見て！ 青森ゆるキャラ応援隊

青森県の魅力をPRするため、県内各地で観光物産のPRに励んでいるゆるキャラ®が集結！サミットを開催して共同宣言を採択、知事より「来て！見て！青森ゆるキャラ®応援隊」の委嘱状が交付されました。県内外のイベントでの活躍が期待されています。

お米大使

(青森県産米需要拡大推進本部)



青森県の応援キャラクター
◆(中央)お米大使おまじゆ
◆天の恵みを表す

◆(左)アオちゃん:水の恵みを表す
◆(右)モリくん:森の恵みを表す

アップリート君

(県スポーツ健康課)



平成20年4月から、青森県民のスポーツ健康づくりの
マスコットキャラクター。
以前は「スポレクおもしろ2007」の
マスコットとして活躍。
◆イメージソング:
アップリートマーチ

つがるちゃん

(つがる市)



つがる市のマスコットキャラクター。
◆どんな子? キュートでおしゃれな女の子。
◆特徴: 全身でつがる市の特産物
コメ、スイカ、りんご、トマト、
ネギ、メロン、ナガイモ、コボウを
表している。

決め手くん

(県総合販売戦略課)



青森県産品のPRキャラクター。
◆チャームポイント: 愛くるしい、丸い笑顔
◆口ぐせ: 「決め手は青森県産!」
◆夢: 県産品を、国内外のたくさんの人たちに愛用してもらおうこと。

ムッシュ・ムチュラン1世

(むつ市)



「美食星」からやって来た宇宙人。
下北が気に入って、居ついてしまった。
ママム、ムチュリーと結婚し、
現在は夫婦でむつ市をPRしている。
◆誕生日: 6月2日
◆住所: むつ市役所本庁舎

りん太君

(青森県りんご対策協議会)



県産りんごの販売を応援するために
誕生！ひょうろくを応援していた。
「ひょうろく」が傷を治して
ばんそうこうをはがし、
「りん太君」に生まれ変わった。
◆キャンペーンソング:
リンリン元気! 青森りんご

ホタちゃん

(青森県ほたて流通振興協会)



むつ湾から、おいしいほたてを
広めるために登場してきた。
◆誕生日: 6月18日(ほたての日)
◆住所: 平内町のほたて広場
(普段はここにいます)
◆好きな食べ物: プランクトン

さんまる

(県文化財保護課)



4,500年前の三内丸山で誕生し、
発掘調査で自覚した現状を。
マスコットキャラクターとして活躍。
◆趣味: 三内丸山跡の
「ピックリヤ」を見つめること。
◆特徴: よこから見ると…平らかな笑)

いかずきんズ

(八戸市)



八戸市市制80周年を記念して登場した
キャラクター。一見すると正体不明? 実際は八戸市の鳥「ひなねこ」で、
ブルーとピンクの頭巾のコンビ。
◆特徴: 水揚げ日本一を誇る「イカ」の
頭巾をかぶっている。「80」は
80周年を表し、イカの吸盤をイメージ。

パムパムくん

(社団法人青森県観光連盟)



アスパムの開館10周年を記念して誕生。
◆血液型: A型
◆好きなもの: 青森りんご
◆焼きたてのアップルパイ
◆趣味: アスパムのイベントで
子どもたちと遊ぶこと!

ナガエモン

(JAどうほく天間)



JAどうほく天間のながいものPR用
DVD制作の際に誕生したキャラクター。
キャラクターでは珍しくしゃべれる??

駒桜ちゃん

(十和田市)



十和田市は古くから馬産が盛ん。
「馬の街」と宮庁街通りの
桜並木にちなんで、駒桜ちゃんが
誕生。コンビの駒松(こままつ)くんも
いるよ!

モーリー

(青い森鉄道株式会社)



青い森鉄道のイメージキャラクター。
緑の森の中で、突然生まれた青い森の木。
◆鉄道の仕事をたまたま手伝っている。
◆誰にでも優しく、心の通った性格。

ゆるキャラ サミット共同宣言

私たちゆるキャラ一同は、2010年12月の東北新幹線全線開業に向けて結集し、「来て！見て！青森ゆるキャラ®応援隊」の一員として、たくさんのお客様に、ふるさと青森県を、ゆる〜く、なが〜く愛していただけよう、PRして参ります。

こころ

(浅虫水族館)



浅虫水族館のマスコットキャラクターで、平成18年7月に誕生し、「こころ」という名前には、「ここに来ればいつとも会える。」という意味が。

つゆヤキソパン

(黒石やきそば応援団プラス)



ふるさと支援隊KUROISIXのメンバー。
ちょっぴりナルシストで、いつも前髪を
気にしている。編みの2倍は、
to you(あなたへ)と汗(つゆ)に
かけている。モットーは「黒石市に新しい
風を！それが私の任務!」

アルファくん

(青森県営スケート場)



2006年8月にデザイン作家の
市川和子さんと誕生。透い水の星で
修行後、青森県営スケート場に就職。
愛くるしい笑顔と青い目、青いリボン
が特徴の白く、現在4歳の男子の子で、
スケートを猛特訓中。



いくべえ



((社)青森県観光連盟)







青森を旅している妖精旅をする間に
青森をとくも気に入りに青い森に
住みつく。帽子は幼い花がモチーフ、
しっぽはフナノ葉。青森の旅の心地よさ、
心から癒される魅力を訪れる人に紹介。

ピカイチデータ☆市町村! ふるさとのナンバーワン、オンリーワン



青森市	ギネス認定! ねぶた囃子の合同演奏 	平成22年8月1日、東北新幹線全線開業を記念し、ねぶた囃子で「笛の合同演奏」のギネス記録を狙うイベントが開催された。会場となった青い海公園には、猛暑の中を県内外から2320人が参加し、世界記録を更新した!
	 日本一! カシス収穫量	アントシアニンなど健康に良い成分を多く含み、人気急上昇中! 青森市で約35年前に栽培が始まり、収穫量は4.4t、シャーベットや生キャラメルなどの新製品も続々登場。ジャムやゼリーなどの加工品が学校給食にも。なんておしゃれな給食!



弘前市	築城400年! 弘前城 	慶長16年(1611年)完成、城跡は国の史跡に指定され、現存する12天守の一つで日本最北に位置する。桜の名所としても名高く、県内外から多くの観光客が訪れる。築城400年祭のマスコット「たか丸くん」は、フランスで開かれたジャパン・エキスポで4位を獲得する人気者!
	ギネス認定! 津軽三味線大合奏 	平成11年11月に東京ドームで行われた「津軽三味線奏者815人大合奏」は、世界記録としてギネスに認定された!



八戸市	日本一! イカ水揚げ高 	八戸港のイカ水揚げ高は長年日本一! 平成21年は82,659tで、八戸港全体(139,275t)の59.3%を占める! 八戸港水揚げ高は全国第3位を誇り、県の総漁獲量に占める割合は約47%に上る!
	日本トップクラス! 商品券発行高 	地域規模の商品券「はちのへ共通商品券」の発行高は、日本トップクラス! 平成21年度はプレミアム商品券と合わせて18億8,895万円を発行し、過去最高を記録した。発行開始した平成元年からの累計で、発行高は134億円を突破!


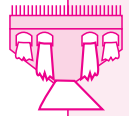
黒石市	日本一のジャンボこけしと木地だるま! 雪だるま! 	平成22年10月に完成した「津軽こけし館」のジャンボこけしは、樹齢300年以上のカツラを使用し、高さ4.2195mで日本一! 木地だるまも高さ2m・重さ755kgで日本一! また、高さ31.425mの巨大雪だるまは日本新記録(H14年)!
	オンリーワン!? 黒石つゆやきそば 	太い平麺が特徴の「黒石やきそば」は、市内約70店それぞれに個性的。「つゆ」をかけた全国でも珍しい「つゆやきそば」は、昭和30年代後半に生まれた。「第5回B-1グランプリ」では2年連続で第7位に入賞、さらに上位を目指す!

ピカイチデータ☆市町村! ふるさとのナンバーワン、オンリーワン

五所川原市	高さ日本一! 立佞武多 	平成10年に約80年ぶりに復活した立佞武多。平成22年の新作「又鬼(またぎ)」は、高さ23m、重さ19tという巨大さ! その高さは、7階建てビルに匹敵し、青森のねぶた(高さ約5m)の約4倍! 3台の巨大な山車が天を焦がし街を練り歩く姿は圧倒的!
	建物が無い!? 太宰ミュージアム 	2009年に生誕百年を迎えた、旧金木町が生んだ文豪、太宰治。2010年には、多彩な奥津軽を体験できる「太宰ミュージアム」がグランドオープン。斜陽館、声野公園、地吹雪、津軽料理…「太宰」を感じられる空間が、まるごとミュージアム!

十和田市	神秘的! 十和田湖と日本一のブナ 	十和田湖は、面積61.02km ² 、最深部327mの日本で3番目に深い湖! また、奥瀬地区で古くから「森の神」と呼ばれ、大事にされてきたブナは、幹周り6.01mで、単木として日本一! 平成20年に「十和田市現代美術館」が開館し、自然の神秘とアートが共存する街。
	注目度ナンバーワン! 十和田バラ焼き 	牛バラ肉と玉ねぎが甘辛いタレと絡み、絶妙な味が大評判のバラ焼き。市内には、バラ焼きを食べられるお店が80店以上も! 「第5回B-1グランプリ」で初出展を果たし、堂々の8位入賞、目指すはゴールドグランプリ!

三沢市	日本唯一! 米軍・自衛隊・民間の共用空港 	三沢空港は米軍・自衛隊・民間の三者が共同使用する日本唯一の共有空港。「アメリカン・デー」や「航空祭」には、遠方からも人々が訪れて賑わう。世界初の太平洋無着陸横断飛行出発の地として航空史に残る、「大空のまち」!
	 ラムサール条約登録湿地「仏沼」	仏沼は、世界的に絶滅危機にあるオオセッカなどの野鳥をはじめ希少な野生生物が多種生息! オオセッカ世界最大の繁殖地で、多くの渡り鳥の中継地。平成17年、重要な湿地の保全を目的とするラムサール条約に登録された!

むつ市	日本三大霊場 恐山! 	慈覚大師円仁が862年に開山。夢のお告げに従って諸国を回り、苦難の末にたどり着いたと伝えられる。白砂の極楽浜、硫黄臭が立ち込める荒々しい岩間、血の池地獄など異空間が広がり、全国から訪れる人を「あの世」の世界に導いてくれる。
	東北最古! 旧大湊水源地水道施設 	旧大湊水源地水道施設は、明治43年に竣工した東北で最初の近代水道施設。特にアーチ式ダム of 石組みは美しく、現在は「大湊水源地公園」として市民に親しまれている。平成21年12月、国の重要文化財に指定!

ピカイチデータ☆市町村!

ふるさとの
ナンバーワン、オンリーワン

つがる市

世界最大級の埋没林!



出来島海岸の1kmに渡る約2万8千年前の埋没林は、数千本のエゾマツやアカエゾマツなどが幅約30cmの泥炭層に1~2m間隔で埋まり世界最大級! 氷河期に洪水など急激な環境変化で針葉樹林が水没し根が腐らず残ったもの。

日本最古のりんごの樹



日本最古のりんごの樹は、明治11年(1878年)に植えられた「紅紋」2本と「祝」1本で、樹齢132年! 幹周り3m、樹高7.4mの巨木で、長く張り出した枝は何本ものつっかえ棒で支えられ、今も約40箱(7,200個)もの実をつける!

平川市

世界一の扇ねぶた!



津軽が誇るねぶた祭。"そのねぶた"は、なんと高さ11m(横幅9.2m、奥行4m)で、津軽一! 津軽一なら世界一!! さらに、墨彩画調のねぶたもココだけ。平川市ねぶた展示館で会える。もちろん、8月2日、3日の合同運行にも出陣。

猿賀神社に咲く「北限の蓮の花」



猿賀神社境内の鏡ヶ池は、県内唯一の「北限の和蓮」の群生地!! この蓮の歴史は古く、藩政時代には既に群生していたと言われている。7月中旬から8月中旬までが見ごろで、約3haという広大な面積の池一面にピンク色の可憐な花が咲き誇る様子は、まさに極楽浄土!

平内町

水揚げ日本一! 養殖ほたて



平内町漁協の養殖ほたての水揚げは、49,573t、55億7千万円(H21)で、単一漁協で日本一! ほたて生産量全国第2位を誇る青森県(109,644t)の45.2%を占め、県内第1位!

天然記念物「北限の椿」!



夏泊半島の椿山は、「ツバキ自生北限地帯」で国の天然記念物。椿神社の境内一帯(約17ha)が1万数千本のヤブツバキに覆われ、4月下旬~6月上旬、紅色の花を咲かせる! 裾野に広がる椿山海岸は「日本の渚・百選」に選定!

今別町

世界最長の海底トンネル「青函トンネル」入口!



青函トンネルは長さ53.85kmで、世界一長い海底トンネル。そのトンネル入口が今別町にある! 日本の最新技術を駆使し、その技術が英仏海底トンネルなどにも活用された。

本州で唯一! JR北海道の駅



津軽今別駅はJR北海道の唯一の本州地上駅! JR東日本の津軽二股駅と隣接し、道の駅「アスクル」も隣、3つの駅が隣あわせで全国でも珍しい! 北海道新幹線「奥津軽駅」(仮称)も設置予定で「しあわせ(4合わせ)駅」!

津軽今別駅

ピカイチデータ☆市町村!

ふるさとの
ナンバーワン、オンリーワン

蓬田村

東北最大! 玉松海岸大型離岸堤



玉松海水浴場沖に自然の島をイメージしてつくられた大型離岸堤(全長300m)は東北一の大きさ! 美しい海岸を浸食から守っている。

世界の北限! 海草「ウミヒルモ」



ウミヒルモは小判型の緑の葉をもつ海草で、主に熱帯~亜熱帯に生育。世界の北限は佐渡島の南部沿岸とされてきた。2007年、県増養殖研究所の調査で、蓬田村北部沖合1.2km~1.6kmの海底で発見! 緯度で3度、距離で300km以上も北へ世界記録を更新!

外ヶ浜町

日本一短い鉄道と日本唯一の階段国道!



龍飛崎、「青函トンネル記念館」から体験鉄道へつながる「青函トンネル竜飛斜坑線」(778m)は日本一短い鉄道で、わずか8分で海面下140mへ到着! また、近くにある「国道339号線」は日本唯一の階段国道(388.2m、362段)! 歩行者専用だが道路標識あり。

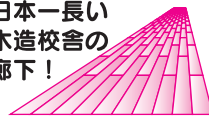
世界初! 「超短波多重通信回線開通の地」



平館にある巨大コンクリート塔(高さ89m)は、「石崎無線中継所」という本州と北海道の電話回線を無線でつないだ塔。2001年に役割を終えたが、ここは、世界に先駆け昭和12年からこの技術を取り組み3年後に実用化したゆかりの地! 記念碑が残る。

鱒ヶ沢町

日本一長い木造校舎の廊下!



町立赤石小学校の廊下は全長147m、木造校舎の廊下で日本一長い! 平成19年3月、卒業する6年生が思い出にと考えた「ぞうきんがけりレー」は、全校児童が紅白に分かれ、ぞうきんをバトン代わりに往復するというもの。翌年以降も受け継がれ、思いをつないでいる。

ブサかわNo.1! 「わさお」



日本中で大人気となった、秋田犬「わさお」。そのユニークで愛らしい姿を見ようと、全国からファンが訪れている。平成21年に初の「鱒ヶ沢町特別住民」となり、翌22年には鱒ヶ沢町特別観光大使に任命! なんと、22年3月公開予定映画「わさお」では、主演も果たした。

深浦町

日本最大! 北金ヶ沢のイチヨウ



目通り幹周22m、樹高31m、樹齢約千年、とても一本の木とは思えぬ巨大さ! 世界一のイチヨウではないかとも言われる。平成16年、国の天然記念物に! 幹から垂れた乳と呼ばれる気根が地面にまで多数垂れ下がっていることから、古くから垂乳根のイチヨウとして崇拜信仰されてきた。

全国初! 関取4人を同時輩出



関取を同時に4人(安美錦、海鵬、将司、安壮富士)も一市町村から輩出するのは、長い大相撲の歴史の中でも前例がないと言われている! 平成19年8月、町内の企業等で構成する勸進元協会主催の「大相撲夏巡業夕陽海岸深浦場所」で、4人が故郷に錦を飾った。

ピカイチデータ☆市町村!

ふるさとの
ナンバーワン、オンリーワン

西目屋村

白神山地随一の
景勝「暗門の滝」!



暗門の滝は、下流から第3の滝(26m)、第2の滝(37m)、第1の滝(42m)と3つの滝で構成されている。世界自然遺産白神山地随一の景勝地とされ、白神山地の中で入山者が一番多い。

樹齢400年以上!
マザーツリー



津軽峠の自然観察道近くにあるブナの巨木「マザーツリー」は、推定樹齢400年、幹周り465cm、樹高30m!強い生命力と包容力を感じさせる、白神山地の神秘的なシンボリック的存在。

藤崎町

大賞&
農林水産大臣賞
ダブル受賞!
「こめたま」



常盤村養鶏農業協同組合の「こめたま」は、休耕地で生産した飼料用米で育てた鶏の卵。味も栄養価も満点!食料自給率アップに貢献したとして、FOOD ACTION NIPPONアワード2009で、大賞と農林水産大臣賞をダブル受賞!

りんごの王様
「ふじ」
発祥の地!



りんご生産量世界一の品種「ふじ」の発祥地!旧農林省園芸試験場東北支場が23年間の歳月をかけ育成し、昭和37年に命名・登録された。支場跡地の一角に校舎がある県立弘前実業高校藤崎校舎の「りんご科」は日本で唯一の学科!

大鰐町

日本初!
温泉熱による
味噌・醤油醸造



温泉で有名な大鰐町。明治43年に日本で初めて温泉熱を利用した味噌と醤油の醸造に成功した津軽味噌醤油(株)は、以来、日本唯一の温泉熱醸造!また、大鰐もやし組合の「大鰐温泉もやし」は300年以上の歴史を誇る自慢の味!

「全日本
スキー連盟」
発祥の地!



我が国スキー黎明期の大正14年(1925年)、大鰐町で開かれた第3回全日本スキー選手権大会で団結の機運が盛り上がり、開会式後に全日本スキー連盟が発足!このわずか3年後、日本は冬季オリンピックに初参加!

田舎館村

巨大田んぼアートは
世界一!



1万5千㎡の田んぼに古代米などの稲を植え、アートを創る。2010年は5色の稲を使い、「弁慶と牛若丸」に挑戦。縦143m、横104mの巨大アートは圧巻で、海外メディアが取材に訪れるほど!ぜひ一度ご覧あれ。

東北地方で
初めて発見!
「史跡垂柳遺跡」



東北地方で初めて弥生時代の水田跡が発見された遺跡として有名。遺跡内には弥生時代の小さな水田を復元。また、近くの埋蔵文化財センターには弥生時代そのままの水田を展示公開し、歩行可能である。弥生人の足跡は必見!

ピカイチデータ☆市町村!

ふるさとの
ナンバーワン、オンリーワン

板柳町

世界で一番
りんごを
楽しめる町!



「ふるさとセンター」には250種の世界のりんご見本園、スイス産のりんごの化石などがあり、また、樹も葉も実もまるごと利活用したオリジナルアイデア製品が多数展示・実演販売されている。町面積に占めるりんご結果樹面積の割合は28.9%で、県内第1位!

ひときわ高い!
高架配水塔



高さ57.16mの高架配水塔は、自然流下方式で全町への給水を実現。さらに、役場と全公共施設をつなぐ無線LANコンピュータネットワークの中継アンテナも設置され、電話料金がかからない高速通信の実現に貢献!

鶴田町

日本一長い
木の三連太鼓橋!
「鶴の舞橋」



「鶴の舞橋」は全長300m・幅3mで、県産ヒバ材の丸太3千本と板材3千枚を使用!橋がかかる津軽富士見湖は日本有数の大きな農業用人工湖!ここ富士見湖パークには、日本初の360度ループの滑り台もある!

朝ご飯を食べて
目指せ
長生き日本一!



毎日の元気の源は朝ごはんから!平成16年、全国初の「朝ごはん条例」施行!他の自治体へも波及し、平成18年には文部科学省の「早寝早起き朝ごはん運動」につながった!日本一「長い木」の橋「鶴の舞橋」を渡って、「長生き」日本一!?

中泊町

「日本唯一の
ストーブ列車」の
終着駅!



津軽中里駅が終着駅の津軽鉄道は、冬期間、私鉄では日本で唯一車内でダルマストーブ(石炭)を焚く「ストーブ列車」を運行!夏は風鈴列車、秋は鈴虫列車を運行し、さらには「真夏のストーブ列車」まで!津軽の風物詩となっており、モデルにしたコミックも発刊。

日本二大名岬!
小泊岬(権現崎)



小泊の「権現崎」は、海拔229m、断崖絶壁の奇勝が見るものを圧倒する日本二大名岬の一つ。約2200年前、秦の始皇帝の命を受け不老不死の仙薬を求めて船出した人物「徐福」がたどり着いたという伝説がある!

野辺地町

日本のスキー
発祥の地!



明治37年(1904年)、豪商・野村治三郎が外国雑誌でスキーを知り、日本で最初に、運動具店にスキー2台を試作させて滑ったスキー発祥の地。「スキー発祥の地碑」が野辺地スキー場「あつたかハウス」前にある。



日本最古の
鉄道防雪林!







野辺地駅ホーム西側に2kmにわたり続く約700本の杉林は、明治26年、豪雪地の線路を守るために植林された日本初の防雪林!全線開通した東北本線が雪で苦しむ中、日本初の林学博士・本多静六(埼玉県出身)の進言で誕生!昭和35年、鉄道記念物に指定!



ピカイチデータ☆市町村!

ふるさとの
ナンバーワン、オンリーワン

七戸町	日本最古の 羽子板! 	応永3年(1396年)南部政光によって創建されたといわれる見町観音堂の堂内には、絵馬185点のほか日本最古と考えられる9点を含めた羽子板14点が納められている。平成2年に国の重要有形民俗文化財に指定され、一部は鷹山宇一記念美術館で保管・公開されている。
	日本最大! ヒナコウモリ 繁殖地 	天間館神社境内のコウモリ小屋は、春～秋の繁殖期、約1万2千頭ものコウモリが住みつき、希少種「ヒナコウモリ」の日本最大の繁殖地! 2007年8月には「全国ヒナコウモリサミット」が開催された。



六戸町	日本初! 「インカトマト」 生産 	トマトの原産地インカ文明が栄えた南米アンデス高原に原生する野生種「インカトマト」。小指の先ほどの大きさで、自然な甘味。アンデスとほぼ同緯度の六戸町で約150種ものハーブを生産する「大西ハーブ農園」が、日本初の食材として生産を始めた!
	県内一早い! 十和田国際 カントリークラブ 	昭和39年、青森県で最初に開設されたゴルフ場! 太平洋型の気候で雪が少ないので、オープンが県内一早い! 大自然の中の広大な魅力あるコース、県内外から年間およそ3万人の利用客で賑わっている。



横浜町	菜の花への こだわり 日本一! 	菜の花(ナタネ)の作付面積約100ha(H22)は、日本最大級! 菜の花マラソンや菜の花迷路などのイベント「菜の花フェスティバルinよこはま」を平成3年から毎年5月に開催。非焙煎にこだわり一番搾りだけで作った「御なたね油」は農林水産大臣賞を受賞するなど、日本一の取り組み!
	北限の ホタル! 	青森県はゲンジボタルの北限で、県の天然記念物! 毎年7月「ホタル&湧き水まつり」の開催やホタルがすみやすい環境づくり活動が続ける「よこはまホタル村」が、2007年、第3回水環境保全活動・自然環境保全活動等功労者優秀賞を受賞!



東北町	日本唯一! 地籍を持つ湖 「小川原湖」 	小川原湖は全国で唯一地籍を持つ珍しい湖。「小川原湖191番地」という地番を持っているのです! 面積は62.16km ² 、青森県で一番大きい。漁業経営体数は琵琶湖、霞ヶ浦、宍道湖に次いで全国第4位。
	日本一黒い!? 「東北温泉」 	小川原湖温泉郷は、古代の植物が堆積した層を通過して湧出するモール温泉。中でも「東北温泉」は、温泉通も驚くほどお湯が真っ黒! 天然保湿成分メタケイ酸を180.9mg含む、美人の湯。



ピカイチデータ☆市町村!

ふるさとの
ナンバーワン、オンリーワン

六ヶ所村	本格長芋焼酎 「六趣」! 	使用している地元六ヶ所産の長芋は、タンパク質やミネラルが豊富。平成18年には村内に「六趣醸造工房」が完成し、折れた規格外の長芋を有効活用している! レギュラーとスペシャルの2種類の焼酎を製造。
	世界初! 大容量蓄電池を 併設した 風力発電所 	六ヶ所村二又電力発電所は、世界初の大容量蓄電池併設型の風力発電所。蓄電池により安定した電力の供給が可能となった。ここで発電された電力の一部は、22年4月から東京の新丸ビルに送られ、国内初の「生グリーン電力」として利用されている!


おいらせ町	日本一の 自由の 女神像! 	いちよう公園にある「自由の女神像」は高さ20.8mで日本一! おいらせ町とアメリカのニューヨーク市が北緯40度40分の同緯度で結ばれていることから、「4」にこだわり本物の1/4サイズ!
	鮭のつかみどり 日本一! 	おいらせ町最大のイベント「鮭まつり」の目玉は、奥入瀬川の河川敷で行われる日本一の「鮭のつかみどり」! 1995年には、用意された鮭2000匹が世界記録としてギネスに認定された!

大間町	本州最北端! 「大間崎」 	本州最北端の岬「大間崎」(北緯41度32分)は、北海道の汐首岬との距離わずか17.5km! 「ここ本州最北端の地」の標識は、この地が本州始まりの地であることも意味している。
	最高級ブランド! 「大間まぐろ」 	一本釣りで有名になった「大間マグロ」は、マグロの中で最も大型の「クロマグロ」(別名本マグロ)。身が引き締まり脂が乗った日本一のマグロと評判。平成13年の築地市場の初競りでは、2,020万円の史上最高値がついた! 「黒いダイヤ」とも言われる。


東通村	高さ日本一 レンガ造り灯台! 「尻屋崎灯台」 	高さ32.82m、レンガ造り灯台で日本一の高さ! 全ての灯台でも全国第6位! 明治9年(1876年)に東北初の灯台として石油式で点灯、明治34年(1901年)には日本初の自家発電による電気式灯台となった。光度は53万カンデラ。
	県天然記念物 「寒立馬」 	尻屋地区で放牧されている「寒立馬」。南部馬を先祖に持ち、小柄だけれど寒さと粗食に強く、持久力に富む。尻屋崎の雪原で、寒風の中をじっと耐えて立つ姿は人々の胸を打ち、名前の由来となった。

ピカイチデータ☆市町村! ふるさとのナンバーワン、オンリーワン

風間浦村

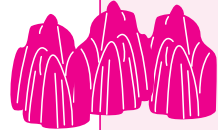
日本唯一!
イカの競泳
「烏賊様レース」


東京・銀座で開催され大反響を呼び全国的に有名になった「元祖烏賊様(いかさま)レース」。常設レース場(一周20m、6コース)が、村の「活イカ備蓄センター」にあり、7~11月のレース開催期間中、誰でも参加できる!

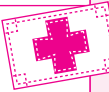
布海苔
石投石事業
発祥の地!


投石(海浜に自然石を人工的に設置)による布海苔養殖法は、明治初年、下風呂地区の先人・佐賀平之丞が考案したもの! 投石による布海苔養殖法は、その後、村内はもちろん、県内及び全国で採用されるようになった!

佐井村


奇岩怪石の
絶景
「仏ヶ浦」!


他に類を見ない奇岩怪石が約2kmにわたって続く「仏ヶ浦」の絶景! 如來の首・五羅漢・一ツ仏・親子岩・十三仏・観音岩・天竜岩・蓮華岩・地藏堂・極楽浜などの名称があり、冬の厳しい姿、夏の穏やかな姿、両方を見せる。


世界に
唯一残る!
手製の赤十字旗


日露戦争時、村出身の医師・三上剛太郎は、三角巾と赤毛布で作った赤十字旗を仮包帯所に掲げ、敵・見方なく治療にあたった。後にこの「手製の赤十字」はスイスなどで紹介され「世界の宝」と称された! 現在は日本赤十字社青森県支部で展示している。

三戸町


世界最大級の
エクストラードーズ橋!
「三戸望郷大橋」


馬淵川にかかる「三戸望郷大橋」は、橋長400m(中央の塔と塔の間隔は200m)! PCエクストラードーズ工法で造られた橋(つり橋と桁橋を組み合わせた新しい構造形式のコンクリート橋)として、その長さは世界トップクラス!


全国初! ガマズミ
100%果汁飲料
「ジョミ」


ガマズミはスイカズラ科の野生植物で、体に良い果実と珍重され、地元では「ジョミ」と呼ぶ。三戸町ジョミ生産組合は、産学官で開発したガマズミ100%機能性飲料「ジョミ」を全国初で商品化。平成15年度全国地場産業優秀製品表彰優秀受賞!

五戸町

日本最古の
カシワの木!



「わむらのカシワの木」(県天然記念物)は、推定樹齢650~750年、樹高22mの大木で日本最古といわれる。江戸時代末期の格式高い武家屋敷の様式を備えた貴重な建造物「旧園子家住宅」(県重宝)の敷地内に立つ。

守り伝える
「江渡家住宅」!


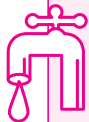
江渡家住宅は天明年間(1781~1788年)に建築された住宅で、大規模な寄せ棟造りのかやぶき屋根が特徴。およそ220年経った現在も、在郷武士住宅の完成された姿を良く伝えており、国重要文化財に指定。

ピカイチデータ☆市町村! ふるさとのナンバーワン、オンリーワン

田子町

日本唯一!
にんにくづくしの
「ガーリックセンター」


「ガーリックセンター」では特産品であるニンニクやニンニクラーメンなどの加工品、海外からの直輸入ニンニク製品などを販売、展示しており、まさにニンニクづくし。にんにくラーメン、にんにくアイスも味わえる!

湧き水100%の
上水道!


田子町の上水道は、豊富な湧き水100%! 中でも「大黒森」(標高719.3m)は田子地域の75%の水を供給、林野庁「水源の森百選」(平成7年)に選ばれた。ここから見上げる星空は旧環境庁の星空日本一に輝いた!(平成4年)

南部町


にんにく「ふくち
ホワイト六片種」
発祥の地!


青森県は日本一のにんにく生産地。色が白く、六片の玉で、甘味がある「ふくちホワイト六片種」という本県独自の品種は、旧福地村苦米地地区で古くから栽培されていた「苦米地にんにく」を改良したもの!


高さ日本一!
「法光寺」の
三重の塔


「法光寺」の三重の塔「承陽塔」は、高さ33mで日本一大きい! 同じく高さ33m、「名川チェリリン村」にあるアスレチックタワー「龍神タワー」も日本一の高さ!

階上町


日本最古の灯台
「灯明堂」跡と
日本最小の五重塔跡!


奥州南部糠部三十三カ所巡礼一番札所「寺下観音」には、享保14年(1729年)に建立された日本最古の灯台「灯明堂」跡や、日本最小の五重塔跡(元文5年(1740年)建立)が残っている。


県内で一番早く
朝日が
昇る場所!


階上灯台のある「小舟渡(こみなと)海岸」は、県内最東南端の地(東経141度41分)で、県内で一番早く朝日が昇る! 水平線から昇る朝日はまさに絶景! 7月下旬は「いちご煮祭り」会場として賑う。

新郷村

キリスト伝説の
里にある
「キリストの墓」!


ヘブライ語に似た意味不明の盆踊り歌が伝わり、「ダビデの星」を家紋とする家も。キリストの墓と言われる「十来塚(とうらいづか)」、弟イスキリの墓と言われる「十代墓(じゅうだいぼ)」がある。

エジプトよりも古い?
「大石神ピラミッド」


十和利山頂に配置された謎の巨石、「大石神ピラミッド」。日本にはエジプトよりもっと古い数万年前ピラミッドが7つあり、その1つが大石神という説が、近くの大駒ヶ岳に自生しているダケカンバは推定樹齢300年、幹周りは4.76mで日本一の太さ!

協力:市町村

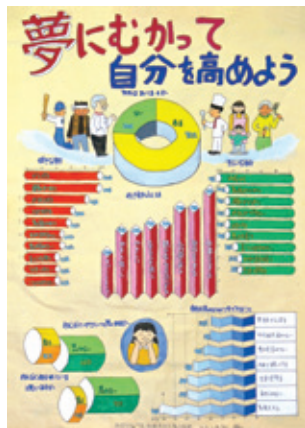
平成22年度 青森県統計グラフコンクール

知事賞



田子町立田子小学校2年 山道 一矛さん

知事賞



弘前市立三省小学校6年 住吉 茜さん

この国の 確かな選択 支える統計

(平成22年度「統計の日」ポスター標語)

★10月18日は「統計の日」です★

青森県企画政策部統計分析課

〒030-8570 青森県青森市長島1-1-1 TEL017-734-9165 FAX017-734-8038
e-mail tokei@pref.aomori.lg.jp

この印刷物は18,000部作成し、印刷経費は1部あたり50円です。